

## グローバルリーダー育成海外留学制度令和8（2026）年度 派遣留学生募集要項 ＜追加募集＞

本学は教育の国際化を積極的に推進し、グローバル人材の育成に注力しています。その一環として、世界のトップクラスの大学における専門教育の機会を与えると同時に、本学における教育及び研究の国際化に寄与することを目的とした「グローバルリーダー育成海外留学制度」を設けています。世界トップクラスの大学での長期の留学においては、学生自身が明確な目的意識を持って海外の大学における専門科目を履修し、高い水準の目標に向かって取り組むことが求められます。

留学を希望する学生は、本要項を熟読し、留学の目的や意義を理解した上で応募してください。

### 記

#### (1) 応募期間

令和7（2025）年10月27日（月）午前9時～10月29日（水）午後3時

#### (2) 応募資格

次の条件をすべて満たしている学部生とする。

- ① 応募時点において、一橋大学に在籍し、令和8（2026）年4月1日現在、本学3年次または4年次に在籍予定の者（派遣留学内定後において、2年次から3年次へ進級できなかった学生は、内定を取り消すものとする）。なお、留学期間内に学部を卒業する者は、応募できないので注意すること。
  - ② 過去に外国の大学に1年以上留学した経験のない者
  - ③ 過去に一橋大学海外派遣留学制度またはグローバルリーダー育成海外留学制度により、派遣留学の内定を受けたことがない者（ただし、本制度またはグローバルリーダー育成海外留学制度に内定したが派遣先大学で入学許可を得られなかった者は、応募資格があるものとする）。
  - ④ 派遣先大学で専門科目の単位取得をする目的が明確な者。
    - ・ 派遣留学期間が通年（2セメスター）の場合、派遣先大学にて4科目以上（各セメスター2科目以上）を単位取得すること。
    - ・ 派遣留学期間が半期（1セメスター）の場合、派遣先大学にて2科目以上を単位取得すること
- 語学科目については、履修自体は可能だが、グローバルリーダー育成海外留学制度は語学留学とは異なるという点から、専門科目としては取り扱わない。なお、ワークロードによらず、1科目は1科目とみなすものとする。
- ⑤ 派遣先大学が定める出願要件（語学、成績等）を満たしている者。成績（GPA）要件については、入学から2025年度夏学期までの累積GPAを対象とする。
  - ⑥ 応募学生本人及びその家族等が渡航におけるリスクを理解しており、自己及び家族等の判断と責任で渡航する者。

※5年一貫教育プログラム参加者が学部4年次に派遣留学に出発して派遣留学中に学部を卒業し、修士課程入学後に帰国する場合は、学部生身分として派遣するものとする。

また、5年一貫教育プログラム参加者が学部4年次に出発する場合については、留学期間の途中であっても単位互換の申請が許可される場合がある。詳細は個別に教務課留学支援係（派遣担当）に問い合わせること。

※外国人留学生は下記のことには注意すること。

- 1) 外国人留学生のうち、非正規生は本制度に応募することができない。
- 2) 正規課程に在籍する外国人留学生は、留学目的や履修計画等を確認した上で本学が必要と判断した場合のみ出身国への留学を可とする（必要に応じて面接試験を行う場合がある）。
- 3) 国費外国人留学生、日本台湾交流協会奨学金留学生は、本制度に応募することが可能であるが、奨学生身分のまま日本国外に留学することはできないため、留学期間開始前に奨学生身分を辞退する必要がある。

### (3) 派遣先大学・派遣留学期間

- ・ 「別表1 グローバルリーダー育成海外留学制度 派遣先大学募集要件一覧」を参照すること。
- ・ 派遣留学期間は1年以内とする。

### (4) 奨学金等（予定）

「別表2 一橋大学基金グローバルリーダー育成海外留学奨学金による支援内容」を参照すること

## I. 堀海外留学支援資金奨学金

株式会社ダイテック創業者である堀誠氏（1962年商学部卒）からの寄附により、愛知県の人材育成を目的として創設された奨学金

<受給資格>

- ・ 愛知県所在の高等学校を卒業した学部生  
※堀氏への留学前から帰国後における各種報告を行わなければならない

<支援内容>

- ・ 留学準備金：（一橋大学基金より支給）  
別表2 一橋大学基金グローバルリーダー育成海外留学奨学金による支援内容：留学準備金を参照
- ・ 滞在費：派遣期間に応じて下記の通り支給  
通年（1年間）：2,000,000円  
半期（半年間）：1,000,000円

<申請／選考方法>

- ・ オンライン申請フォーム内「堀海外留学支援金奨学金応募の有無」にて「応募する」を選択し、要件を満たす高等学校卒業証明書を提出した者より受給者を決定する。
- ・ 年間予算の範囲内で、成績等の上位者から優先的に決定する
- ・ 一橋大学海外派遣留学制度／グローバルリーダー育成海外留学制度、両制度合わせて最大年間10人を上限とする

### (5) 選考方法

一橋大学派遣・受入留学生選考専門委員会が、書類選考及び面接試験の結果に基づき、選考する。

## (6) 提出書類

全ての書類について、オンライン申請システムにて作成・アップロードすること。

提出書類	対象者	備考
① 希望派遣先大学申告票	全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>指定様式 (<b>Excel ファイル</b>) をアップロードすること。</li> <li>申請できる派遣先大学は、応募資格に定める出願要件（語学、成績等）を満たしている大学から選択すること。</li> <li>申請できる大学数は一橋大学派遣留学制度による申請大学数とあわせて 10 校までとする。</li> </ul>
② 語学能力を証明する書類	全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>応募資格に定める語学要件を満たす語学試験のスコアレポート等 (<b>2024 年 4 月以降に受験した正式なものに限る</b>) の PDF データ又は試験結果照会のウェブページ画面のスクリーンショット等画像データを PDF データに変換しアップロードすること。なお、受験者名、試験日及び取得スコア（セクションスコア含む）が確認できるデータとすること。</li> </ul>
③ 留学志望書	全員	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語・英語の留学志望書をそれぞれ一通ずつ作成すること（A4 判用紙で各 2～3 枚におさめること）。</li> <li>Word ファイルを PDF データに変換しアップロードすること。</li> <li>任意様式。各ページ右上に学籍番号と氏名を記載すること。</li> <li>留学を志望する理由を中心に、これまでの履修・研究内容、留学後の将来計画及び課外活動等を含めて記述すること。また、最上位で希望する派遣先大学の選定理由及び履修・研究計画を記述すること。</li> </ul>
④ 推薦書	右記参照	<ul style="list-style-type: none"> <li>任意様式</li> </ul> <p>本学教員から推薦書を教務課留学支援係（派遣担当）宛に郵送または電子メールにて提出</p>
⑤ 成績証明書	学部生	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>2025 年度夏学期</b>までの成績を含む成績証明書（和文）の PDF データをアップロードすること。</li> <li>成績証明書は西キャンパス本館 1 階エントランスにある証明書自動発行機で発行すること。</li> </ul>
⑥ 派遣留学応募に際しての誓約書	全員	<p>本学ウェブサイトに掲載の「派遣留学応募に際しての誓約書」を確認・署名の上、PDF データをアップロードすること。</p> <p>※署名入り文書であるため、写真を PDF 化したもの（アプリ等含む）は認めない。コンビニ等のプリンタでスキャンすること。</p>
⑦ 個人情報収集同意書	全員	<p>本学ウェブサイトに掲載の「個人情報収集同意書」を確認・署名の上、PDF データをアップロードすること。</p> <p>※署名入り文書であるため、写真を PDF 化したもの（アプリ等含む）は認めない。コンビニ等のプリンタでスキャンすること。</p>
⑧ オンライン提出チェックリスト	全員	<p>チェックリスト様式をダウンロードの上、チェック項目を記載すること。</p> <p>提出は、PDF 上でフォーム入力したものまたは手書きのスキャンデータいずれでも可。</p>

## (7) 応募方法

オンライン申請にて、提出書類をシステム上でアップロードして申請すること。なお、提出書類のうち「希望派遣先大学申告票」については、アップロード後の変更、差替えはできないため注意すること。なお、オンライン申請後、受付票を大学 Gmail (学籍番号@g.hit-u.ac.jp) に送付するため、教務課留学支援係(派遣担当)からのメール(edu-gs.stu@ad.hit-u.ac.jp)を受信可能となるように設定しておくこと。

申請期間	令和7(2025)年10月27日(月)午前9時～10月29日(水)午後3時
申請方法	オンライン申請システム(本学ウェブサイト <a href="https://international.hit-u.ac.jp">https://international.hit-u.ac.jp</a> にリンクを掲載)にて、申請情報の入力及び提出書類のアップロードを行うこと。

## (8) 面接予定日

令和7(2025)年11月12日(水)～14日(金)(予定)

## (9) 選考結果(派遣留学内定者)の通知

令和7(2025)年11月末(予定)

## (10) 一橋大学海外派遣留学制度との併願について

本制度と海外派遣留学制度の両方に応募すること(併願)は可能であるが、最終的に採択されるのはどちらか一方の制度についてのみである。

## (11) 補足事項

- ① 「別表1 グローバルリーダー育成海外留学制度 派遣先大学募集要件一覧」は、派遣先大学の事情により予告なく変更される場合があるので、留意すること。
- ② TOEFL ITP (Institutional Testing Program)・TOEFL iBT (Home Edition)・IELTS (Online) のスコアは、語学能力を証明する書類としては認めない。
- ③ 留学生が履修できる授業科目に制限を設けている派遣先大学があるため、ウェブサイト等で確認し、履修・研究計画を立てた上で応募すること。
- ④ 国・地域によっては留学時のビザ取得に際し、語学要件を定めている場合がある。応募資格に定める語学要件とは異なる場合があるので、詳細を確認した上で準備すること。
- ⑤ 派遣先大学が定める出願要件(語学、成績等)・出願書類をよく確認すること。

## (12) 派遣留学に内定した場合の注意事項等

- ① 本制度により留学する場合の渡航目的は留学のみとし、原則渡航は日本からの出国及び日本への帰国のみとする。
- ② 派遣留学期間中は、「派遣留学生」身分として本学に在籍することとなり、休学は認められない。また、派遣留学期間中は本学の授業料を納付しなくてはならない。
- ③ グローバルリーダー育成海外留学制度へ内定したことをもって、派遣先大学への入学を担保するものではない。必ず、所定の時期までに派遣先大学が求める出願書類(成績証明書、推薦書、論文等を含む)を当該大学に提出すること。先方にて出願書類による審査のうえ、入学の可否が決定される。

派遣先大学における成績評価、留学生の受入状況や受入体制等により、入学を許可されない場合があることを理解の上、本制度に応募すること。なお、上述の理由により留学が不許可となった場合は、それが判明した時点で出願可能な大学へ派遣先を変更することを認める。

- ④ 派遣留学に内定した場合でも、次の場合は内定を取り消す。
  - a. 派遣先大学からの入学許可を取得できない場合
  - b. 本学内において3年次へ進級できなかった場合
  - c. 本学が実施するオリエンテーションを正当な理由なく遅刻・早退・欠席した場合
- ⑤ 留学先大学の学期中は主ゼミナールを除きオンライン授業を含む本学の授業を履修することはできない。5年一貫プログラム生も例外ではないので、5年一貫プログラムに応募しようとしている学生は予め研究科に確認すること。
- ⑥ 健康管理は自らの責任において行うこと。派遣留学期間中の事故及び疾病等は派遣留学生の責任とし、費用は自己負担となる。なお、派遣留学生は、本学が指定する海外旅行傷害保険に必ず加入しなければならない。
- ⑦ 派遣留学生は、留学先国における日常的なリスク及び予期せぬ事態に対応するために、本学が指定する危機管理サービスに加入すること。
- ⑧ 派遣留学内定者は、本学が実施する下記のオリエンテーションに必ず出席すること。オリエンテーションの詳細については、教務課留学支援係（派遣担当）より別途通知するので確認すること。

<夏出発>

オリエンテーション名	開催時期
事務手続きオリエンテーション	令和8（2026）年4月頃（予定）
異文化・危機管理オリエンテーション	令和8（2026）年6月頃（予定）

<冬出発>

オリエンテーション名	開催時期
事務手続きオリエンテーション	令和8（2026）年9月頃（予定）
異文化・危機管理オリエンテーション	令和8（2026）年11月頃（予定）

- ⑨ 派遣先国及び派遣期間等によっては、派遣留学に係る所要経費が奨学金額を超える場合があるが、その場合の超過分は自己負担とする。  
留学準備金について、他団体等からの奨学金と支援内容が重複する場合は、本奨学金の減額を行う。
- ⑩ 派遣留学生が次の各号に該当すると認められた場合には、奨学金の給付を停止又は中止することがある。
  - 一 休学、退学又は除籍になったとき。
  - 二 留学を取りやめたとき。
  - 三 学業成績が不良となったとき。
  - 四 処分を受けたとき。
  - 五 その他奨学生として適当でない事実があったとき。
- ⑪ 派遣留学生は、派遣留学先大学での本学のPR活動や、帰国後の本学及び奨学金支給団体等への留学報告等を行わなければならない。また、正当な理由なく、留学報告等を行わない者には支給した奨学金の返還を含め、厳正に対処する。

- ⑫ 派遣期間中は派遣先大学での学習・研究に専念すること。単位を取得できなかった場合、奨学金の返還を求めることがある。
- ⑬ 自己都合による留学の辞退や派遣先大学在籍期間の変更は、体調不良等相当の理由がある場合を除き、原則認めない。
- ⑭ 派遣先地域において「危険情報」又は「感染症危険情報」が発出されている場合の実施可否の基準については別紙1「海外派遣留学の実施可否判断」を確認すること。なお、基準は情勢に応じて変更される場合がある。

以上

令和7（2025）年7月  
派遣・受入留学生選考専門委員会  
学務部教務課